

日本台湾学会第一回学術大会プログラム

[財団法人交流協会後援]

期日 1999年6月19日（土曜日）

会場 東京大学本郷キャンパス構内山上会館（会館事務室3812-2111）

*地下鉄本郷三丁目から徒歩10分

参加費（会場費・資料費として）：1000円

受付開始：9：30 *大会事務局は、応接室に設けます。

午前の部（10：00～11：50）*各報告の間に10分のコーヒープレイクを設けます。
歴史・社会分科会 日本植民地期の台湾経済----『認識台湾』の記述を手がかりとして
座長 石田浩

報告者：中島航一（帝塚山大学）「日本統治時代の農業の意義について」

コメンテーター：松田吉郎（兵庫教育大学）

報告者：やまだあつし（日本学術振興会特別奨励研究員）

「日本統治時代の工業の意義について」

コメンテーター：堀 和生（京都大学）

政治・経済分科会

座長 井尻秀憲

報告者：渡辺剛（筑波大学大学院博士課程）「戦後台湾の官吏制度と党政関係」

コメンテーター：林成蔚（東京大学大学院博士課程）

報告者：松田康博（防衛研究所）「蔣経国による特務組織の再編」

コメンテーター：家近亮子（千葉敬愛大学）

文化・文学・言語分科会

座長：河原功（成蹊高校）

報告者：垂水千恵（横浜国立大学）「呂赫若の演劇活動」

コメンテーター：山口守（日本大学）

報告者：柳書琴（清華大学大学院博士課程・東京大学大学院研究生）

「張文環と植民地の戦時動員」

コメンテーター：野間信幸

<昼休み 11：50～13：（理事会 会場：応接室）>

会員総会 13：30～14：00 会場：大会議室

午後の部（14：00～15：50）

歴史・社会分科会 近代台湾における<境界>の成立

座長 張士陽

報告者：浅野豊美（早稲田大学アジア太平洋研究所）

「台湾における初期植民地法制と戸籍・国籍－属人主義から属地主義への転換」

コメンテーター：小熊英二（慶応義塾大学総合政策学部）

報告者：陳文玲（東京都立大学大学院生）

「作られた部族の境界---日本統治初期のサイシャット族を事例として」

コメンテーター：小林岳二（学習院大学大学院生）

政治・経済分科会

座長 大橋英夫

報告者：川上桃子（アジア経済研究所）

「台湾における部品工業の形成過程---日本企業からのスピニアウトを中心に」

コメンテーター：劉進慶（東京経済大学）

報告者：劉怡玲（東京経済大学大学院博士課程）

「戦時統制経済下における植民地台湾の労働事情

----『労働動態調査結果報告』の検討を中心に」

コメンテーター：照彦（名古屋大学）

文化・文学・言語分科会

午後の部：植民地の北方憧憬

座長：黄英哲（愛知大学現代中国学部）

報告者：沢井律之（光華女子大学）

「戦前台湾人作家における北方憧憬---鍾理和の場合」

コメンテーター：中島利郎（岐阜聖徳学園大学）

報告者：李郁蕙（広島大学大学院博士課程）

「吳濁流と北方憧憬

----『アジアの孤児』に見られる日本・中国・台湾の位置関係を中心に」

コメンテーター：下村作次郎（天理大学）

記念講演 16：00～17：30（講演：通訳付き80分、質疑10分）

会場：大会議室

講師：許雪姬博士（中央研究院近代史研究所研究員）

テーマ：台湾家族史研究の回顧と展望

司会：若林正丈

通訳：松田康博

懇親会 18：00～20：00

会場：山上会館ホール（一階）

会費：5000円（学生3000円）